

## 地域ケア委員会（公開委員会）のご案内

府医地域ケア委員会では、「看取りと終末期医療」について協議を重ねているところですが、この度、委員会の講師として東京大学の会田薫子先生を招聘することとなりました。会田先生は、エンドオブライフケアなどについて研究をされており、日本老年医学会において「高齢者ケアの意思決定プロセスに関するガイドライン～人工的水分・栄養補給の導入を中心として～」の作成に携わっておられました。そのお話は、多くの医療関係者にとって参考になるものであると考えられることから、委員会を公開委員会とし、広く聴講者を募らせていただきます。医師・看護師・事務職等、職種を問わず多数ご参加ください。ご参加いただく場合は、下記の参加申込みに「医療機関名・参加者名・職種」を明記し、9月5日（金）までに府医事務局地域医療1課へFAX（075-354-6097）にてお申し込みください。

日 時 平成26年9月9日（火）午後2時30分～4時

場 所 京都府医師会館（JR 二条駅東ロータリー南隣）3F大会議室

演 題 「長寿時代のエンド・オブ・ライフ・ケア — 人工栄養の意味を考える」

講 師 東京大学大学院人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター

上廣死生学・応用倫理講座 特任准教授 **会田 薫子** 氏

対 象 医師・その他医療関係者

参加費 無料

日医生涯教育講座 ①単位1.5単位

②カリキュラムコード：4. 医療倫理、7. 医療制度と法律、81. 終末期のケア

講演要旨：人工的水分・栄養補給法（AHN：artificial hydration and nutrition）などさまざまな医療技術が進展し生存期間の延長を図ることが可能となった現代、長い人生の最終段階において、患者を人として尊重しその生命と尊厳を重んじるということの意味は、可能な限り生命の存続を目指すことではないと考える市民や医療者が増えてきた。こうした時代に、高齢者への医療とケアはどうあるべきか、何を軸とすべきかについて、一緒に考えましょう。

※受講票はございませんので、お断りの連絡なき場合は、当日、会場へお越しください。

地域ケア委員会（公開委員会）

（9／9）

◆医療機関名 \_\_\_\_\_

◆参加者氏名 \_\_\_\_\_ 職種 \_\_\_\_\_

参加者氏名 \_\_\_\_\_ 職種 \_\_\_\_\_

参加者氏名 \_\_\_\_\_ 職種 \_\_\_\_\_

FAX：075-354-6097へご送付ください